

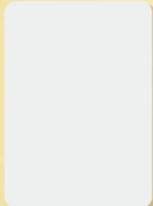
～イザナギ、イザナミの国づくり～



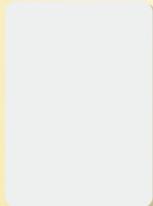
クニトコタチノカミ



トヨクモノノカミ



ウチノカミ



ツクグヒノカミ



オホノチノカミ



オモダルノカミ



イザナギノミコト



スヒチノカミ



イクグヒノカミ



オホトノベノカミ



アヤカシコネノカミ



イザナミノミコト

かみよななよ 神世七代

初めは抽象的な存在であった神様が、次第に男女に分かれていきます。天津神はイザナギノミコト、イザナミノミコトに「このただ在る国を修め、理り、^{つく}固め、成せ(修理固成)と命もちをおくだし、天の沼矛^{ぬぼこ}をお渡しになります。二神はこの沼矛を桶に突き刺してかき回し、引き上げると、矛の先から塩がしたたり落ち、島となります。これがオノゴロ島です。オノゴロ島で結婚したイザナギノミコト、イザナミノミコトは次々と島を生みます。